

地の特産でお腹いっぱい

農福観協
とDMO 京田辺まるごと体験ツアー

様々な業種、団体が連携する「京田辺農福観地域づくり協議会」(岡本和雄会長)とお茶の京都DMOがタッグを組んだ「京田辺まるごと体験ツアー」秋の京田辺を楽しもう!」が17日に

行われ、あいにくの雨模様の中、参加者18人が地元の風物に触れた。

昨年10月に開催した京田辺まるごと体験モニターツアーをさらにパワーアップさせた「秋の日帰りバスツアー」で、

歴史や農業、食材などに親しんでもらい、京田辺の魅力をアピールした。GOTOトラベルの対象で、価格は35%オフとお得に。コロナ感染防止のため20人に制限した定員は早々に埋まった。



エビイモとズイキを串にした「京た鍋」に舌鼓を打つ参加者たち(さんさん山城)

この日朝、ブランチ松井山手に集合した一行は、大住車塚古墳と岡村地区を散策した後、澤井家住宅を見学。天気予報を見込み前日のうちにスタッフの手で刈り取った枝豆を重要文化財の土間でおいで、試食するなどした。

さんさん山城に移動すると、名物の「京た鍋」に舌鼓を打ち、茶ムライ中坊敏也さんの手ほどきで抹茶と玉露を淹れて、さんさん手作りの濃茶大福に笑顔が広がった。

すっきりと降り止まぬ天候の中、その後も大御堂観音寺で十一面観音立像を拝み、普賢寺ふれあいの駅で買い物を楽しんだ。

大住小3年の美伶さん、同1年の華織さん姉妹を連れて参加した村瀬梓さん「大住は「地元で暮らしているものの、あまり京田辺のことを知らなかったが、子供にも食べ物とか色々知ってほしい。ゆでた枝豆がおいしく、子供が完食していた」とエビイモたっぷりの京た鍋も満喫した。